

〔夏季企画展〕

～日本遺産認定1周年記念～



日本遺産

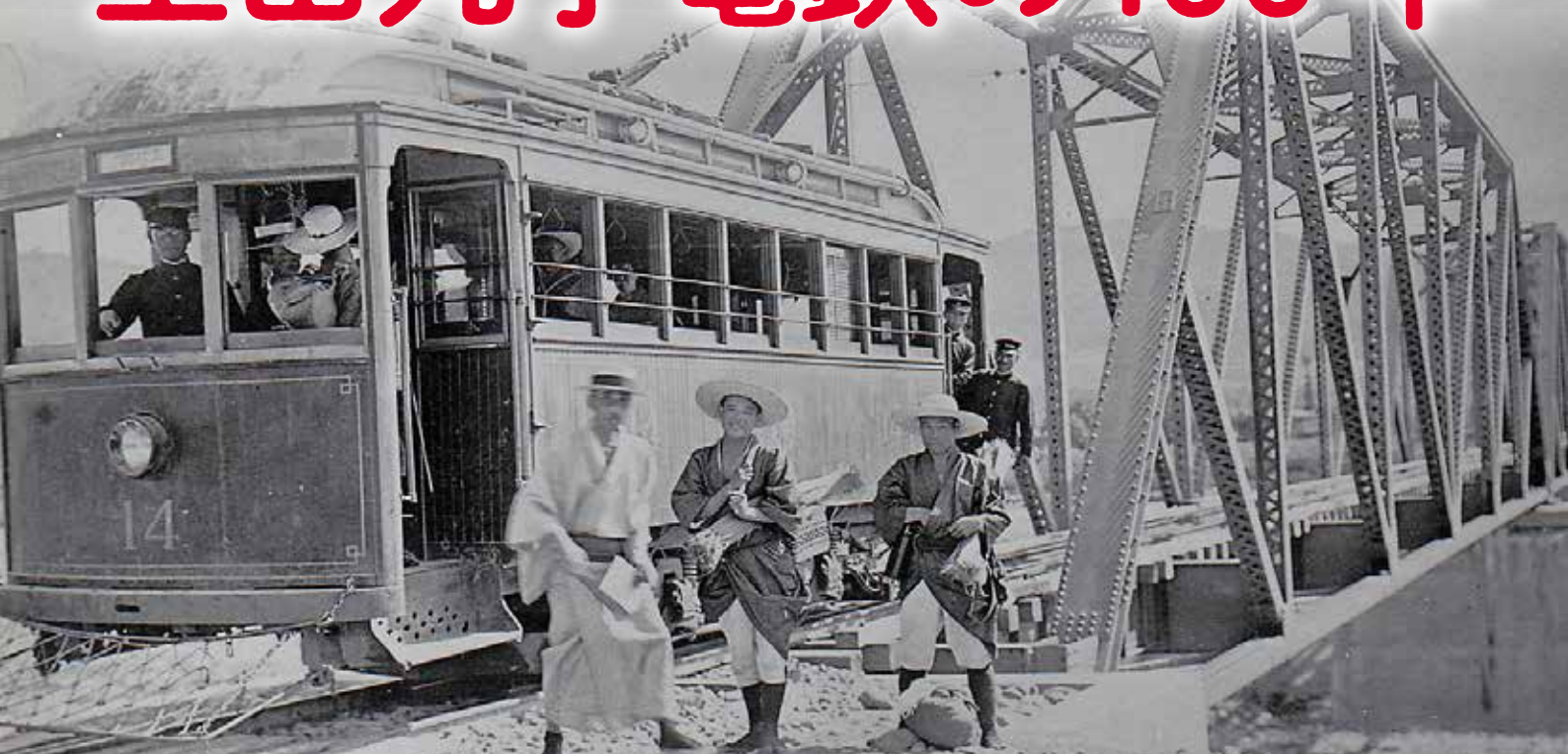
大層と大地の聖地  
信州上田  
塩田平

JAPAN HERITAGE



別所線復興記念

# 千曲川の赤い鉄橋と 上田丸子電鉄の100年



2021年  
7月17日(土) >>> 8月29日(日)

## 上田市立博物館

Ueda City Museum

〒386-0026 長野県上田市二の丸3-3(上田城跡公園内)

TEL: 0268-22-1274 FAX: 0268-23-5503

Mail: hakubutukan@city.ueda.nagano.jp

URL: <https://museum.umic.jp/hakubutsukan/>

休館日: 水曜日、8月10日(ただし8月11日、8月18日は開館)

時間: 午前8時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料: 一般300円 高校・大学生200円 小中学生100円  
(障がい者及びその介助者は無料・団体割引あり)

主催: 上田市立博物館

協力: 上田電鉄株式会社・上田市交通政策課



上田城二の丸堀を走る真田傍陽線（撮影年不明）



閉鎖された丸子線上田東駅（昭和44年）



上：真田傍陽線閉業記念乗車券  
下：丸子線閉業記念乗車券



丸窓電車（モハ 5251）  
（上田市マルチメディア情報センター提供）

# 千曲川の赤い鉄橋はもうすぐ100歳！

上田電鉄別所線の千曲川橋梁は、大正13年（1924）の完成。100年近く風雨に耐え、上田の発展を見守り続けてきましたが、令和元年10月の東日本台風で鉄橋の一部が崩落。赤い鉄橋が濁流を被った衝撃的な光景は、多くの皆さんの心を動かし、復旧を願う支援の輪が上田から全国へと広がりました。

そして、令和3年3月、みんなの力で復旧した赤い鉄橋に再び電車が走りました。この「未来への懸け橋」は、別所線の次の100年へ向けて、新たな一步を踏み出したのです。

本展では、別所線の全線開通と日本遺産認定1周年を記念し、かつて市内を走っていた上田丸子電鉄の路線や、現役の別所線の歴史をひも解きます。駅の標示板や駅員さんの制服、運行当時の写真などから、懐かしい鉄道のある風景に思いを馳せてみませんか？



丸子線行先標

上田丸子電鉄制帽  
（上田電鉄(株)蔵）

